



## 【キウイフルーツ】

### 施肥

樹勢回復のために9月に分肥した残り分キウイフルーツ配合40kg/10aを10月中旬に施肥します。  
9月の施肥を行っていない方はキウイフルーツ配合100kg/10aを10月中旬に施肥しましょう。

## 【うめ】

### 施肥

○土壌改良 10月上中旬 苦土石灰 200kg/10a  
○秋肥施用 10月中下旬 梅配合 120kg/10a

病害虫防除 10月上旬～11月上旬

### 2週間間隔で2回

○かいよう病 多発園ではICボルドー66D 50倍 2kg/100畝 葉芽発芽前まで  
※カイガラムシの防除のためアタックオイルを散布する場合は、ICボルドーと混用せず、  
散布間隔を2週間以上空けてください。

## 【お茶】

秋整枝 10月上中旬 (平均気温で18℃程度になる時期)

一番茶のために、摘採面を揃えます。(葉層は8cm以上)再萌芽の防止や寒害の影響をうけないように、  
時期をはずさないようにしましょう。

(整枝位置の目安)

一番茶のみ摘採の場合：夏整枝位置の5cm上。

二番茶を摘採した場合：二番茶摘採位置もしくは二番茶整枝の5cm上。

敷き藁 秋整枝以降

冬季の根に対する乾燥と寒害の防止のため敷き藁をしましょう。

病害虫防除 秋整枝後 11月

○カンザワハダニ アタックオイル 100倍 1畝/水100畝  
チャトゲコナジラミ  
(晴れた日を選んで防除すると効果的です。)

## 【水稲】

### スクミリンゴガイ対策

今年度も発生拡大を阻止するため、水田では収穫後必ず耕耘(速度はゆっくり、ロータリー回転は速く)を行い、貝を傷つけ越冬させないようにしましょう。また、水路や排水溝なども越冬場所となるので、捕殺、清掃を必ず行いましょう。**(※捕獲した貝は道路等には捨てないようにしましょう。)**

～学校給食米(はるみ、てんこもり、キヌヒカリ、さとじまん、コシヒカリ)出荷にご協力ください～

当JAでは、9月24日から11月上旬まで米穀集荷を行います。JAに出荷されたお米の約8割が、学校給食用として供給されています。供給量は不足していますので、1袋でも多くの出荷にご協力ください。  
(学校給食にお米を供給することで概算金の安定が図られています。)

春先に出荷契約を結んでいない方でも、出荷することが出来ますが、支払い条件等が異なります。

また、JAへの出荷に当たっては、インボイス制度の都合上「組合員」名義での出荷をお願いいたします。詳細は最寄りの営農経済センターにお問合せください。